

グレン＝コルデンホフ、惜しくもラトビア GP の表彰台を逃す



ファンティック・ファクトリーレーシング MXGP のパイロット、グレン＝コルデンホフはラトビアで開催された MXGP 第 11 戦で実力を発揮。わずかに表彰台に及ばず、総合 4 位に入賞し、シリーズランキングを 3 位へと押し上げた。アンドレア＝ボナコルシとブライアン＝ボガースも共にトップ 5 を走る実力を見せ、今シーズンの MXGP の後半戦に向けチーム力が着実に向上しているファンティック・ファクトリーレーシングの実力を見せつけることに成功した。併催の EMX125 では、ドウエ＝ファン・メクゲレンが総合 5 位に入賞した。

MXGP 第 11 戦は、後半に向けてファンティックチームが仕上がっていることを証明するレースとなった。ラトビア、ケグムスの「ゴールデンホフ」と称されるサンド質のレーストラックで、ブライアン＝ボガースとグレン＝コルデンホフはそれぞれ土曜日の計時予選で 3 位と 4 位を記録。アンドレア＝ボナコルシも 8 位で連なっている。好調さはそのまま予選レースにも引き継がれ、ファンティック・XXF450 トリオは力強くスタート、オープニングラップでは 3 台がそろって 5.6.7 位に並んで快走した。このままコルデンホフ、ボナコルシ、ボガースの順にフィニッシュし、翌日の決勝に期待を持たせたのである。



日曜日もファンティック・チームは引き続き実力を発揮、レース 1 ではブライアン＝ボガースが序盤のレースをリードする走りでオープニングラップを 3 位にまとめた。グレン＝コルデンホフはすぐ後ろに続く 5 位で、4 位のライダーのミスに付け込んで瞬く間にボガースに肉薄した。残り 5 周で「ザ・ホフ」は 3 位に上がると後続にギャップをつけ始める。ボガースは後ろから迫るチャンピオンシップ・リーダーのハーリングスの攻めに耐えながら 5 位を死守。アンドレア＝ボナコルシも手堅く 7 位に入り、3 台のチームメイトがすべて 7 位以内という好結果を得たのである。

レース 2 に向けてさらに期待が高まる中、しかしコルデンホフとボガースはスタートに失敗し、到底表彰台は望めない状態になってしまう。それでもチェッカーフラッグまで死力を尽くして走り切ったが、ファンティック・トリオの先陣を切ったのはボナコルシで 5 位。総合 7 位に入賞した。コルデンホフは何とか 7 位に入賞して総合 4 位に、わずか 1 ポイント差で表彰台を逃すこととなったのである。ボガースは 13 位でレースを終え、総合 9 位ながらトップ 5 を走れる実力があることを示すレースとなった。

総合順位ではコルデンホフが3位に浮上。3連戦を終え、ようやく休みを挟んだ次のレースは、イギリス GP、マッターレイに向かうことになる。

グレン＝コルデンホフ：いや、手堅い週末だったよね。ほんと、レース2が残念だった。スタートはベストとは言えなかったから表彰台までに2人をパスしなくてはいけないことがわかってたんだ。でも、それをやり切るだけのエネルギーが残っていなかった。レース1の後、かなりいいムードで、この週末は表彰台も取れて最高だぜ、と思っていたんだけどね。だから今、本当にがっかりしているよ。でも全力は尽くしたんだ。総合ではまあまあポイントも取れたし、結果としてこの3連戦、全体としてはいい方向に向かってきたことが証明できた。ここから後半戦、これが実を結べるように頑張るよ。



アンドレア＝ボナコルシ：ドイツ以来の体調不良が収まらずに練習もできないままに迎えたこの週末、厳しい状態だったんだ。おかげで長い週末になりそうな予感だったんだけど、7位-5位だからまあまあ悪くなかったっていいんじゃないかな。スタートは悪くなくて、もうちょっと体調がよくてベストを尽くせばもっといい結果が出せたはずだとは思うけど、今の状況を考えれば総合7位は上出来っていいだろう。次の週末はレースがないから、イギリス GP に向けていい休養と気分転換ができるはずだ。



ブライアン=ボガース: 全体としてはよかったと思うね。予選レースやレース2の結果はいまいちだったけど、それ以外では絶えずトップ5を走れていたからね。もちろん、特にレース2の結果にはがっかりなんだけど、正直スタートの時にはだいぶ疲れていて、スタートも出れなかったうえに前を抜いていく元気も残っていなかったんだ。でも前向きに考えれば、次第に良くなってきていることは間違いないからね。正しい方向に向かっているし、トップ10にいつもいて、トップ5に肉薄していることには自信を持っているよ。この週末のオフでリカバーして、イギリス GP に臨まなくてね。



ファンティック・ファクトリーレーシング EMX

ダッチ（オランダ）マスターズのチャンピオン、ドウエ＝ファン・メクゲレンは、そのホームコースのサントに親しんできたから、ここラトビアのコースも得意としている路面だった。その通り、予選では4位に食い込み、5位に入ったチームメイトのフランチェスコ＝ベレイの直前でフィニッシュできたのだ。

ファンティック・ファクトリーレーシング・デュオはレース1のスタートもまあまあ手堅く、1周目はトップ10を争う展開となった。だが、ベレイはその直後、前走車の転倒に巻き込まれて自身も転倒。マシンにもダメージを負ってリタイヤに追い込まれてしまった。一方ファン＝メクゲレンはミスなく着実なペースでラップを刻み、7位に入賞した。

夜じゅう降りしきった雨の後、日曜日の朝いちばんのレースには厳しい路面コンディションになっていた。おまけに二人ともスタートは理想的とはいいがたく、ファン＝メクゲレンはレース1同様にひたすら前を追う展開となって、なんとかマシンを7位にまで押し上げ、総合5位を獲得したのである。ベレイは中団に埋もれながらもあきらめずに戦い、10位に入賞、総合では14位を獲得した。



EMX250ではシモーネ＝マンチーニがXXF250でロケットスタートを見せた。1コーナーで2位、だが2コーナーでミスをして沈んでしまう。そもそもサントは得意ではないマンチーニは最終的には10位に入賞した。

レース2ではさらに悪条件に阻まれてしまう。スタート直後の1コーナーで失速したライダーに阻まれて行き場をなくしたマンチーニは転倒。だがあきらめずに立て直すとラップタイムも悪くないままに前を追いかける。その後、残念なマシントラブルでリタイヤする羽目になったが、それまでのリズム良い走りはこの先のレースへの好結果を予感させるものとなっている。

ドゥエ=ファン・メクゲレン：アップダウンはないね。スタートをミスって、まあ何とか7位に入ってたの総合5位だったわけだけど。でもスピードは十分戦えるところにあると思うよ。マシンは調子いいから、とにかく僕自身がいいスタートを切れるように練習しないとだめだね。



フランチェスコ=ベレイ：残念ながら、いつもの良くある週末ってやつになってしまった。でもレースなんてそんなものだし、もっとひどいことだってあったはずだ。だから今できることをこなし、前に向かって進むだけだね。この調子で頑張って、最後には満足できるシーズンだったと言えるだけの材料を見つけてこなくちゃね。



シモーネ=マンチーニ：いい面だけを見れば、スタートはよかったし、苦手なサンドでも特にレース2では戦えることが証明できたってところだね。土曜日はリズムがつかめなくて、結局そのままレースが終わってしまった感じ。日曜日はめちゃ乗れている感じだったんだけど、1コーナーで行くべき方向をミスってしまったんだ。でもできることといえば、これまで同様、きっちりやるべきことをこなしていくことさ。

